

災害避難情報の伝達方法について

令和 2 年 9 月 17 日現在

情報発信媒体と発信内容

(ただし J:COM 無料放送可能世帯数は平成 31 年 3 月 31 日現在)

発信媒体・手段	発信内容・発信方法・対象数等
区公式ホームページ	災害発生時や警戒時に「災害モード」への切替を行い、トップページに特設ページを設定し、避難情報や、避難所の開設状況等を発信する。
防災行政無線	区の施設等に設置されているパンザマスト（スピーカー）により、緊急事態が発生したことを周知する。放送内容の確認ができる「電話応答サービス」の運用も行っている。 パンザマスト設置数：区内 165 か所
防災・緊急情報メール	避難情報等の区からの緊急なお知らせを、登録者宛てにメールで配信する。区内の雨量が一定の基準を超えた場合の、自動配信機能も備えている。 登録者数：32,904 人
ヤフー防災速報アプリ（スマートフォン用）	アプリ内で登録地域を「板橋区」に設定したスマートフォンに対し、区内の気象警報や区からの避難情報等を、プッシュ通知する。 板橋区を登録している人：152,337 人
防災ツイッター	避難情報等の区からの緊急なお知らせを、ツイッターで発信する。フォロワーによる情報拡散が期待できる。 フォロワー：1,976 人
公式ツイッター	平時は区の魅力発信ツールとして活用し、災害発生時や警戒時には、防災ツイッターと同様に防災情報の発信を行う。 フォロワー：16,256 人
公式フェイスブック	平時は区の魅力発信ツールとして活用し、災害発生時や警戒時には、公式ツイッターと連動して防災情報の発信を行う。 フォロワー：2,656 人
緊急速報エリアメール（携帯電話各社）	避難情報発令等の緊急時に限り、区内にある全ての携帯電話に対し、区からの緊急速報メールを送信することが可能。Jアラートと連動した一斉メール送信（気象庁による特別警報の発令・震度 5 弱以上の地震波の到達が予想される場合など）も、このシステムにより行われる。
ケーブルテレビ（無料放送）	ケーブルテレビ J:COM との協定に基づき、災害発生時や警戒時に防災関連の情報を、無料放送チャンネル(11ch)内の L 字テロップで放映する。 J:COM 無料放送の視聴可能世帯数：240,848 世帯
テレビのデータ放送（Lアラート）	テレビリモコンの d ボタンを押すことで視聴が可能な文字データ放送により、区に特化した避難情報や避難所開設状況などをテレビ画面で確認できる。
総合安心・安全パトロール	3 台の青色防犯パトロールカーを活用し、風水害が想定される場合において、事前に注意喚起の内容を放送しながら巡回を行う。

※ 令和 2 年 7 月に全戸配布した「広報いたばし防災特集号」において、主な災害情報の収集方法や避難方法などについて区民周知を実施した。

※ 上記の情報発信媒体を効果的・効率的に活用し、事前に予見可能な風水害等については想定の前 5 ～ 3 日前から、震災等の発災時は発災後に速やかに情報発信を行っていく。